

令和6年度

第2回神奈川県公立高等学校設置者会議

会 議 録

- 1 日 時 令和6年9月5日(木)
10時30分～11時20分

- 2 場 所 神奈川県庁本庁舎大会議場

- 3 出席委員 黒岩 祐治、工藤 誠一、田沼 光明、柏木 照正
竹内 博之、飯島 奈津子、木村 昌彦、新倉 聡
川名 勝義、花田 忠雄、落合 嘉朗、増田 年克
山本 朝彦(横浜市教育委員会事務局学校教育企画部長)
小澤 毅夫(川崎市教育委員会事務局学校教育部長)

福祉子どもみらい局長（座長）

それでは定刻となりましたので、ただいまより、令和6年度第2回神奈川県公立高等学校設置者会議を開催させていただきます。

私、神奈川県福祉子どもみらい局長の川名でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の第1回神奈川県公立高等学校設置者会議でございますが、入試日程の関係を書面開催によりまして、協議をさせていただいたため、皆様にお集まりいただく会議といたしましては、今年度初めてでございます。

開会に当たりまして、「神奈川県公立高等学校設置者会議の設置及び運営に関する要綱」に基づきまして、座長の互選をお願いしたいと思います。

従来から、神奈川県におきまして、私立学校を所管している局長が座長を務めさせていただいておりますので、慣例に従いまして今回も、福祉子どもみらい局長でございます私が務めさせていただくということでよろしいでしょうか。

全員

（異議なし）

座長

ありがとうございます。それでは、座長を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

この会議は原則公開とされておりまして、取材及び傍聴者につきまして、こちらの会議室に既に入室していただいておりますので御承知おきください。

それでは、今年度、委員の交代がございましたので、新委員の御紹介をさせていただきます。

横浜国立大学副学長 木村 昌彦 委員でございます。

横浜市教育委員会教育長 下田 康晴 委員でございます。

本日は、下田委員の代理といたしまして、山本学校教育企画部長に、川崎市の小田嶋委員の代理といたしまして、小澤学校教育部長に御出席いただいております。

また、本会議の主催者の黒岩知事でございますが、所用によりまして途中からの出席とさせていただきますので、御了承いただければと思います。

議事に入ります前に、「かながわ定時制・通信制・高校教育を考える懇談会」様から、本会議の主催者宛に要請文書が提出されております。

皆様には文書の写しを、お手元にお配りしておりますので御確認ください。

それでは、議事に入らせていただきますが、知事が途中からの出席となりますので、次第の順番を入れ替えて、まず、「2 報告事項」に入らせていただき、

その次に、「1 議題」の順に進めさせていただきたいと思います。

終了時間は11時20分頃を予定しております。

それでは、「2 報告事項」の「公私協調事業 神奈川の高校展 2024」について、事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局（私学振興課長）

＜資料4により説明＞

座長

ただいま事務局から、説明がありましたが、「神奈川の高校展」は平成18年度から始まりまして、中学生の高校選びのための事業として定着してきているところでございます。

令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったイベントもございましたが、昨年度からは全公立展、私学展及び公私合同説明・相談会の全てのイベントを実施することができております。これもひとえに学校関係者の皆様の御協力と御尽力によるものでございます。大変ありがとうございます。

この「神奈川の高校展」につきまして、それぞれの学校現場において留意した点、工夫した点等あると思いますので、ぜひ御意見をお願いしたいと思っております。

それでは、順番にお願いしたいと思いますが、まず、神奈川県教育委員会からよろしくをお願いいたします。

増田委員

ただいま事務局から説明のあったとおり、公私合同説明・相談会、そして、全公立展、無事に終了しているところでございます。特に、全公立展につきまして昨年度から再開という形でもございまして、今回33,000人ということで、非常に多くのご来場者にお見えいただいたところでございます。各学校では在籍する生徒もブースに出て一緒に声をかけながら、色々と会話をする様子も見られまして、中学生、あるいは保護者にとっても、学校の雰囲気を知っていただくための良い機会になったと思っております。毎年好評いただいているイベントということで、そのニーズの高さを改めて感じたところでございます。

それからその後、地区ごとに行われました、公私合同説明・相談会でございますが、こちらは公立高等学校、それから私立学校についても、主に副校長先生、教頭先生に非常に御尽力をいただいていると承知をしているところでございます。

毎年実施後に振り返りをさせていただいて、より良い形を目指していきたいと

ということで、毎回、少しずつ改善を図っていただいているところでございます。

私も今年、相模原の会場へお邪魔いたしましたけれども、去年は教室の外に来場者の方が並んで待っていただくような場面が少しありました。学校会場でしたので廊下は暑くなってしまう。なるべく、そういう時間がなくなるといいなと思っておりましたが、今年はそういったところを人の流れをうまくつくれるような工夫を各学校、講じていただきまして、廊下もすっきりと皆さんが歩きやすいような状況になっていました。毎回実施後の振り返りをしっかりと行っていたら、翌年にさらにバージョンアップをした形ということで実施をいただいているものと考えているところでございます。

こちらは引き続き、今後も公立、私立ともに、様々な知恵を出し合いながら、しっかりと取り組んでいき、更なる事業の拡充を図って参りたいと考えているところでございます。引き続きどうぞ御協力のほどよろしくお願いをいたします。

私からは以上でございます。

座長

ありがとうございます。

振り返りと様々な工夫をしているということで、運営方法自体もいろいろ見直しをしているという御報告をいただきました。

それでは続きまして、私学側委員から御意見をお願いできればと思います。

工藤委員

「神奈川の高校展 公私合同説明・相談会」についてですが、これは大変長い歴史がありまして、公立学校さんが先にやっているところに、公私協調ということで私学が加わらせていただいております。

公私合同説明・相談会には、私学は高校募集している 59 校の私学が参加しております。

私学の先生たち、つまり入試広報の責任者がスタッフとして携わっていますので、その部分においては公立学校さんが副校長先生等で運営されているのと多少違うのかなと思っております。その先生方は、7月の神奈川私学（高校）展の企画委員を務めており、運営の中心として来場者 36,000 人を 1 日で集めました。これを踏まえすと、スタッフの先生は、私学ですと「広報のプロ」と言えると思っております。

入試広報活動は私学にとっては存立をかける大切な生命線の 1 つでありますので、公私合同説明・相談会の運営においては私学との事前の相談を、より密にさせていただきたいと思っております。イベントが終わったときに、公私がともに

満足のいくイベントになって欲しいと思っております。

働き方改革という観点から、今回はイベント会社へ委託した地区も一部あるようですが、委託するだけの効果があるかを今回の経験をもとに検証し直す必要もあるのではないかという意見も寄せられております。

今まで以上に、公私の学校を担当者がそれぞれの意見や提案をお互い同意しながら進めていくということで、より一層充実した事業として、次年度以降も実施されるようにしていただきたい。そのように思っております。

私から以上です。

座長

ありがとうございました。

様々な工夫を公私連携しながら進めていく中で、来場者も増加しており、また、イベント会社の委託の効果も検証していかなければいけない等の御意見をいただきました。

それでは続きまして、横浜市様、よろしく願いいたします。

横浜市 山本学校教育企画部長

横浜市学校教育企画部長の山本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

中学校3年生、そしてたくさんの保護者の皆さんに、高校を広報していただく大切な機会として、全公立展、公私合同説明・相談会を実施できたことについては、本当に有意義なことであったと感じております。

また、残念ながら台風7号の接近を受けて、横浜中地区の公私合同説明・相談会は中止となってしまいましたが、横浜中地区に参加予定だった、横浜市立高校では、ホームページに資料を掲載するなどして対応することができました。

まず、全公立展についてですけれども、昨年度に引き続き、パシフィコ横浜で実施ができ、多くの来場者を迎えられたことを大変嬉しく思っております。

この全公立展は、スタートアップのイベントとして、各学校が視覚的に魅力を伝える工夫をしていたと感じております。特に、効果的なパネルの展示、パンフレット等の配布、限られた時間の中でも、ビデオなどで情報を伝えるような取組もすることができました。

また、生徒たちが先生と一緒に熱心にPRをしたり、PCを活用して動画上映を行って学校の取組を魅せるといった工夫も見られて、来場者の方たちには、学校の温かい雰囲気や協同して高校生活を送っているような、そのようなことも感じていただけたのではないかと思います。

次に、公私合同説明・相談会ですけれども、各会場とも熱中症対策に御留意いただきまして進めることができました。ありがとうございました。

開催につきましては、昨年度と同じ事前予約制で実施されていて、各会場とも多くの来場者がいらっしやいましたけれども、特に大きな混乱もなく進めることができました。公私合同説明・相談会は、全公立展でのパネルや展示物に加えて、更に、スライドや動画の投影など、普段見ることができない学校行事の上映などもさせていただきました。来場者の方たちには、学校の魅力や特色を詳細にお伝えすることもできたと考えております。

また、各学校の個別相談も、実施されていまして、充実した安心の進路選択に繋がっていくものと感じております。

横浜市としては、これからもこういったことをしっかりと続けていきたいと感じております。

意見、報告は以上になります。

座長

ありがとうございます。台風接近により中止となった状況でも、ホームページ等の工夫をされたということ、また、視覚に訴えるような工夫で全公立展を運営されたという御報告をいただきました。

続きまして、川崎市様、よろしく願いいたします。

川崎市 小澤学校教育部長

川崎市教育委員会でございます。

まず、全公立展でございますけれども、新型コロナウイルス感染症後、2度目の開催ということでもありましたので、各高等学校長に対しましては、昨年度の経験を生かし、搬入物や配布資料の精選、混雑を生まないような人の流れを考慮したポスターの掲示、来場者に対する絞った簡潔な説明等、丁寧な対応を行ってくださいということをお願いをしてきたところでございます。

公私合同説明・相談会につきましては、12地区のトップバッターの開催であったということもございますけれども、各学校長に対しまして、緊張感を持って対応していただくこと、特に、熱中症対策に配慮していただくようお願いをしたところでございます。

今年度は、昨年度までの反省点を生かしまして、昨年度行っていた階段を昇り用と降り用に分けることや参加校の資料を別のブースに置くことはせず、また、会場の4階に公立高校、3階に私立高校を配置しましたがけれども、当日は来場者に目立った混雑は見られず、スムーズに人が流れていたところでございます。

心配していました熱中症に関しましても、体調不良者が4名ほど出ましたけれども、会場に設けた、臨時の保健室で休んでもらったところ、体調も戻り、再度見学をしていただいたところでございまして、大事に至る来場者もなく、無事

終了することができたところでございます。

以上でございます。

座長

ありがとうございます。

運営方法の工夫、また熱中症対策等いろいろ御苦労されたというような、御報告をいただきました。

それでは、横須賀市様、よろしく願いいたします。

新倉委員

昨年度に引き続きまして、今年度も全公立展が開催できましたことを嬉しく思っているところです。

特に横須賀、また、三浦半島の地区につきましては、横浜地区あるいは湘南地区と隣接していることもありまして、全公立展は1つの会場で、県内すべての公立高校の特色等を知っていただけるため、大変有意義な機会であると思っております。

また、公私合同説明・相談会につきましては、各地区で開催されたところでありますけれども、横須賀三浦地区としては、市立横須賀総合高等学校を会場に8月6日に開催させていただきました。

今年も非常に暑い中での開催でしたので、熱中症対策としては、昨年度と同様ですけれども、早くから御来場されている入場待ちの方々の待機場所を校舎内に設けるといった形を継続させていただきました。

また、参加された高等学校は、学校説明のパネルや展示物あるいはプレゼンテーションの動画を用いて自校の特徴を短時間で説明されていたり、個別の相談ブースを用意したりと、それぞれの各学校の個性を発揮されていたことと思っております。

参加された方からは、多くの学校を回りたい生徒と、この学校をじっくりと知りたいという生徒、それぞれのニーズに合った回り方ができてよかったという感想をいただいているところです。

今回の全公立展も公私合同説明・相談会につきましても、それぞれの高校の特色を中学生や保護者の方に対面で知っていただけるという機会ですので、大変有意義な場所だと思っております。

私どもの横須賀市立の中学校の生徒につきましても、生徒自身が自らの希望に沿った進路を選択できるという指導を行っているところですが、その一環として、「神奈川の高校展」や、各高等学校の学校説明会に参加を促しているところです。

中学校に確認しましたところ、生徒が各校の情報を得る際には、各高等学校が作成されている広報やホームページが重要な情報源となっていると聞いております。

本市の市立横須賀総合高校につきましても、できる限りホームページの更新を行った上で、最新の情報を発信するように努めていきたいと思っております。

私からは以上でございます。

座長

ありがとうございます。

やはり、各会場、熱中症対策等、皆さん御苦労されたことかと思えます。

また、多くの学校を回りたい、個別にじっくりと話を聞きたいという来場者のそれぞれのニーズにも応える運営をされ、情報発信も工夫されたというようなお話もいただきました。

それぞれ皆様のお立場で、御苦労いただいたことを伺ったところでございます。今後とも様々な工夫をしていただきながら、中学生が自分の希望に合った学校を見つけられるような取組が必要ということを実感したところでございます。

竹内委員

私からもよろしいでしょうか。私学として思っていること、少し話をさせてください。

まずスタートアップイベントとして行った、海の日神奈川私学（高校）展ですけれども、36,000人を超える入場者を集めることができましたが、まず、この感想からです。

パシフィコ横浜2階のアネックスホールという会場で、「神奈川の高校入試」というテーマの講演会を私が担当したのですが、3講演行い、3回とも千席ほど用意がありましたが、超満員で立ち見の方も多数おられました。

また、1階の展示会場では、私学の学費支援の個別相談ブースを設けましたが、これは私学振興課と私学の事務長会の方をお願いして、ブースをたくさん出していただきました。これが長蛇の列になりまして、ブースによっては、1時間ほど待たなければ相談できないような状況もありました。この2つの点からも、公立中学校の生徒や保護者にとって、私学に対する関心は高いなとすごく感じました。

それから、先ほど工藤委員から話がありました、公私合同説明・相談会につきましては、1年前は4会場が同日に設定されるというマイナス面があったのですが、今年も残念ながら3会場が同日に設定されてしまいました。

それから地区と会場をチェンジした方がスムーズにいくだろうとそのような地区もあったように思います。公立私立の間で風通しも良くなって、相談ができるようになったのですけれども、もっともっと連携を密にして、より良い事業になればいいなと思っています。

私からの感想です。以上です。

座長

ありがとうございます。私もパシフィコ横浜のアネックスホールで行われた高校入試の講演会、参加させていただきましたが、大変多くの方が来場されました。関心が高いということを感じさせていただいたところでございます。

また、公私合同説明・相談会について、同日に3会場で行われたこと、地区と会場を工夫してチェンジした方がスムーズにいくのではないかと御指摘や公私の連携を密にしながら、相談していくというような御指摘もいただきました。

本日いただいた御意見につきましては、神奈川の高校展実行委員会にお伝えさせていただきたいと思っております。それでは報告事項については以上とさせていただきます。

続きまして、次第の「1 議題 令和7年度の高等学校生徒入学定員計画の策定について」に移らせていただきます。

初めに、神奈川県公立高等学校協議会における、定員協議の結果につきまして、同協議会の座長である私学振興課長より御報告をお願いします。

事務局（私学振興課長）

<資料3により説明>

座長

それでは、これより意見交換に移らせていただきます。

令和7年度の高等学校生徒入学定員計画の策定につきまして、ただいま協議会の報告があったところでございますが、御意見につきまして、御発言をお願いしたいと思います。

まず、私立学校側の委員から御意見いかがでしょうか。

工藤委員

それぞれの学校が学則に定める定員を尊重しながら決めていくという、そういう方式でもって今年も協議がなされて、順調にまとまったことを大変嬉しく思っております。

こうした方向性を大事にしながら、公私が共に協調して次の世代の若者たちを育てていくということを神奈川県として一体となってやっていくことが必要と思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

座長

ありがとうございます。

それでは続きまして、神奈川県教育委員会からお願いいたします。

花田委員

ただいま、神奈川県公立高等学校協議会の結果報告をいただきました。工藤委員からもお話がありましたとおり、公私各々が実現を目指す定員目標を設定する方式、これが継続され、公立につきましては39,300人という数字とさせていただきます。

また、県全体の全日制進学実績の向上を目指すということも掲げさせていただいております。こうした点、公私でしっかりと合意確認されたということで私ども教育委員会としても全く異存ございません。

今回の協議会の結果を尊重させていただいて、公私ともに子どもたちがより良い学生生活を送れるような、そんな学校づくりに引き続き尽力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

座長

ありがとうございます。

続きまして、横浜市様、お願いいたします。

横浜市 山本学校教育企画部長

今年度の定員計画につきましては、十分な協議がされた数字であると思っておりますので、私たちとしても妥当であると考えております。

今後、県内の公立中学校の卒業生数が減少見込みであるとか、広域通信制への進学率も増加しているような状況の中ですので、目標設定というのは本当に難しいと考えておりますけれども、ただいま、私学委員や県教育委員会からもお話ありましたとおり、これまでどおり、公私がしっかりと協調しながら、それぞれの立場と責任の上において、全日制高校への進学率の更なる向上に向けて、一層努力していくことが、私たちも重要であると考えております。

横浜市立高校につきましても、各学校の特色を生かした教育を充実させていくように最大限努力して参りたいと考えております。

以上でございます。

座長

ありがとうございます。
続きまして、川崎市様、お願いいたします。

川崎市 小澤学校教育部長

川崎市の公立中学校卒業生数の増減は、県とは異なるような傾向を示しております。また同じ市内でも、北部と南部とではまた違った傾向を示している中で、市内の高等学校の定員計画に関しましては、市立、県立、私立それぞれのバランスを考えて、検討していく必要があると考えているところでございます。

一方、県内の公立中学校卒業生数は、来年度以降も長期的に見れば、減少し続ける見込みがあるかと思えます。また、広域通信制への進学率も増加するなど、生徒の進路選択が多様化している中での状況におかれまして、目標設定をしていくということが難しいところもあると考えております。

しかしながら、これまでも公私が自らの責任において、全日制進学率の向上を目指し、定員目標を設定してきたというところもございまして、今回の目標設定につきましては、適正であると考えているところでございます。

以上でございます。

座長

ありがとうございます。
続きまして、横須賀市様、お願いいたします。

新倉委員

先ほど説明があったように、県内の公立学校の卒業生数が約 750 人減少すると見込まれている状況です。今後も県内の公立中学校卒業生の減少が続くと想定されており、また、昨今の生徒の進路選択が多様化している状況もあります。

このような状況の中ですと、目標を設定すること自体が大変難しいところではありますけれども、公私各々がそれぞれの責任において、十分な協議がなされたものですので、定員計画の目標設定は妥当であると考えているところです。

学校設置者としての横須賀市の立場で考えますと、令和 6 年度の横須賀市内の中学生は 8,400 名前後となりますけれども、令和 12 年度には 7,400 名前後に、1,000 名以上の減少を今見込んでいるところです。

そのような立場の中では、市立横須賀総合高等学校のあり方も含めて検討していかなければならないと思っておりますけれども、それまでの間は、横須賀総合高校の特色をいかに周知しながら、生徒一人ひとりのニーズに合った教育を充

実させていき、努力していかなければいけないと考えているところです。

引き続き、皆様の御指導等をいただきたいと思いますと思っています。よろしくお願ひいたします。

座長

ありがとうございます。

それでは、学識者のお二人からも御意見いただければと思います。飯島委員から御意見いただければと思います。

飯島委員

神奈川県弁護士会に所属しております弁護士の飯島でございます。

県内のお子さんの数がやはりどうしても減少傾向、それも全国的にそのような状況の中で、公私が共に協調し合って目標を設定するという事は、すごく難しく、色々なファクターがあるところを、このように議論をされて、案をまとめられたということに敬意を表したいと思います。

お子さんたちがそれぞれの状況に置かれた中で、ぜひ自分の希望をかなえられる環境というのを作っていただきたいと思っていますのと、それから経済的な事情で希望を断念するようなことがないように御配慮していただければと思います。

先ほどの公私合同説明・相談会などで、お金のことはあまり心配しなくてもきちんと通える場所がありますよ、ということをよくお子さんにも印象づけてあげられるようにしないと子どもは自分のために親がお金を使うということについて、大人が思う以上に、遠慮がちな発言をする場面を見ます。親に迷惑かけるかなと心配の声を漏らすお子さんに会ったりもしますので、是非中学生のお子さんたちに、心配しなくても大丈夫だよというメッセージが伝わるといいなど、そのように思って先ほどの報告も聞かせていただいております。

以上でございます。

座長

ありがとうございます。

続きまして、木村委員、お願ひいたします。

木村委員

横浜国立大学の木村と申します。

皆様方の意見と重複しますが、本当に公私がそれぞれ役割を考えて、少子化の中でしっかり目標設定を行っていく、こういった協調的なものは、大変有

意義だと思いますし、是非今後も進めていっていただきたいと思っています。

やはり教育、今は習うから学ぶ、主体的に学ぶ、そのためにはしっかりと教育環境が整うということが重要だと思っています。国家や県下を長期的に見たとき、長期的経済効果を生み出すのは教育だと思っています。ですから、教育がしっかりしなければ国や県の発展は難しいと思います。

少し話が逸れますけれども、柔道の創始者である嘉納治五郎師範、彼が柔道の理念を「精力善用」、「自他共栄」という言葉で表しています。

知事の母校の中・高等学校の校是、つまり学校の理念はこの2つです。この「精力善用」、「自他共栄」を今、学校現場のみならず、組織の中でも標榜されているウェルビーイングに例えてみると「精力善用」というのは、個々が自分の能力を高めるためにどうするか、獲得的ウェルビーイングを表します。そしてそれを何のためにやるのか。それは「自他共栄」、つまり利他的なこと、自分だけでなく、自分も国家も巻き込んで、ともに幸せになる。協調的ウェルビーイングを表しています。まさしくそういった過去の人たちが言っている教育的理念を今、それを振り返るときかと思っています。

もう1つ、嘉納治五郎師範は文武両道という言葉は、「文」と「武」それぞれ別々のものであり、本来は分けることのできない「文武不岐」だとしています。さらに嘉納師範は自身の書の引首印に「文経武緯」と示していました。これは「緯武経文」を逆さにしたと思われる。

つまり地球的に見て、縦糸に「文」、横糸に「武」、「武」は武道に限らないですけれども、それを考えてどれだけしっかりした立派な布を織り込むことができるかが人生にとって大事だということです。

今の教育で言うと、「文」が認知的なもの、「武」が非認知的なものです。非認知的能力と認知能力をどうやって考えていくか、そのためにも様々な学校があって、多種多様な教育理念があって、これこそが今の子どもたちが将来に向かって学び続けるために必要なことだと思っています。

昨今、多様性と言われてはいますが、色々な機会が子どもたちに与えられて色々な学びがある。公私協調でイベントをやっていますが、協働的な学びで連携協力できるかというのは、今後、県下の子どもたち、あるいは県、あるいは国家がどう進んでいくかというところの表れだと思いますので、是非こういった機会をどんどん持っていただいて、協調的にやっていただければなと思っています。今回のこの目標設定は、全く問題はないと思っています。

以上です。

座長

ありがとうございました。

ただいま皆様の方から様々な御意見をいただきました。

皆様からの御意見も踏まえまして、令和7年度の高等学校生徒入学定員計画の策定につきましては、本会議として協議成立したということで、皆様、よろしいでしょうか。

全員

(異議なし)

座長

ありがとうございます。

なお、定員計画のうち、公立高校の定員につきましては、今後、教育委員会に諮って正式に決定することになりますので、御承知おきをお願いいたします。

以上で議事を終了させていただきますが、知事から御発言いただけますでしょうか。

黒岩知事

所用により途中からの出席となりましたけれども、本日は大変お忙しい中、神奈川県公立高等学校設置者会議において、熱心な議論が行われ、そして合意に至ったことを心から感謝申し上げたいと思います。

この場で「精力善用」、「自他共栄」という懐かしい我が母校の校是が出てくるとは思いませんでしたが、まさに、その理念に応じた「公私共栄」というような流れが、この神奈川県でできていることを大変誇りに思うところであります。

公立高校、私立高校、それぞれ歴史も違う、立場も違う、考え方も違うでしょうが、それを越えて子どもたち一人ひとりの目線に立って、どのような教育のあり方がいいのかといったことを率直に議論してくださった結果だと思っております。本当に誇らしいことだと思います。

人口減少社会で子供たちも減ってくるという流れの中で、この公私が連携していくということは大変難しいことだと思いますけれども、そこをしっかりと続けてくださっているということを心から感謝申し上げたいと思います。

県内の公立中学校卒業予定者が750人も減るという見込みでありますけれども、今回の合意した目標設定が実現されると、全日制進学率は90%に達することが期待されるということは、大変明るいニュースだと思います。

これからも、子どもの目線を大切にしながら、「一人ひとりの希望と適性に応じた進路を確保する」という、定員計画の目的の達成に向けて引き続き、御尽力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

座長

それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回神奈川県公立高等学校設置者会議を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。